

まちの話題

思い出の園舎に別れ

旧黒坂保育所お別れ会

今年3月に閉園し、解体が決まっている旧黒坂保育所(黒坂)に最後のお別れをしようと、10月9日、お別れ会が開かれました。

参加したのは、黒坂保育所卒園者を含む黒坂小学校児童1・2年生16人。まず、黒坂小の唐来秀夫校長が、「今日の思い出を忘れないでほしい」とあいさつ。子どもたちは、保育所前にあるキウイフルーツの木から実を収穫し、最後に園舎に向かって「思い出ありがとう」「さよなら」など、口々に感謝の気持ちを言って別れを告げました。



収穫した実は持ち帰ってみんなで食べました

あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。
★役場企画政策課まで(電話720332)



緊張の第一走者、一斉にスタート

秋晴れの中を力走

町駅伝競走大会

10月11日、第48回体力づくり日野町駅伝競走大会が、根雨小学校で開かれました。

今回は、根雨小学校から安原橋までのコースを、中学生から一般までの14チームが秋晴れの下たすきをつなぎました。沿道からは、地元の人らが選手に「頑張って」と声援を送っていました。

大会結果(優勝のみ紹介) 中学生男子 日野中学校駅伝部男子 中学生女子 日野中学校駅伝部女子 高校生 日野高校バレーボール部女子 一般チーム走る仲間たち

長寿に乾杯

黒坂・菅福地区手作り敬老会

黒坂地区コミュニティ推進協議会(柴田滋会長)主催の、黒坂・菅福地区の手作り敬老会が、10月12日、黒坂小学校体育館で開かれました。

出席したのは、黒坂・菅福地区の75歳以上のお年寄りのうちの96人。行われた余興では、黒坂で活動している舞踊グループ、なでしこグループが、歌謡曲に乗せて踊りを、また日野高校郷土芸能部が大迫力の荒神神楽を披露し、客席の喝さいを浴びていました。

また、手作りの弁当も用意され、参加者らは健康と長寿を願って乾杯し、交流を深めました。



心のこもった余興に拍手

中山間集落見守り活動協定調印式



調印式には県と郡内3町の代表も出席

地域の安全を見守る

中山間集落見守り活動協定調印式

10月22日、中山間集落見守り活動協定の調印式が、日野総合事務所で行われました。

この活動は、日野郡内の協定事業者が日常業務の中で発見した地域の異常などを町へ連絡し、安心・安全なまちづくりに協力しようとするものです。

今回の協定では、有限会社堀田本店と菅福元気邑、株式会社コーセンとライトハウスことたの4事業者が日野町と協定を結びました。この協定は10月22日から1年間で、1年ずつ更新されるものです。



コース半ば、余裕のピースサイン

全員完歩、秋の日野路

もみじ開運ウォーキング

滝山公園から金持神社までの約14^{キロ}の道のりを歩いて開運を手にもらおうと、第1回もみじ開運ウォーキング(町観光協会主催)が、10月25日に行われました。

参加者は、町内をはじめ、各地から集まった約120人。コースは起伏があるものの、美しい山並みや紅葉が楽しめる、ウォーキングには最適のもの。参加者はゴールの金持神社を目指して自分のペースで歩き、全員が完歩しました。

参加者からは、「金持神社の石段を最後に登るのがきつかったが、景色も楽しめ、参加してよかった」などの感想が聞かれました。



ボーリングなどの競技に汗を流す

健康づくりと親ぼくを

町老人大会

町内の10の老人クラブが集まり、レクリエーションを通して体力増進と親ぼくを図ろうと、第27回町老人大会(町老人クラブ連合会主催)が、10月28日、黒坂社会体育館で開かれました。

大会では、赤・青・白の3組に分かれた90人の参加者が、関所やぶり、水入れ、大玉転がしなど6つの競技を繰り広げました。

結果、和老会、福寿会、ほのほのクラブの3つの老人クラブで結成された赤組が優勝しました。

地域がひとつに

真住地区文化祭・運動会



運動会で選手宣誓を行う木山政文さん夫妻

今年度発足した真住公民館(山川茂樹館長)の初めの事業として、11月1日と2日に、真住地区の文化祭と運動会が、真住公民館(旧日野町青年の家)で開かれました。これは、高齢者の比率が住民の6割以上となった真住地区で、住民どうしの交流や地域の活性化を目指して計画されたもの。文化祭は1日と2日の2日間開かれ、木工品や手芸品、写真など25人の出品者による133点の作品が展示され、2日間で地区内外を含め約110人の来場者がありました。

2日に公民館グラウンドで開かれた運動会には、約120人が参加。各種リレーやボーリング、綱引きなどで盛り上がったほか、おにぎりや豚汁など、女性会員手作りの料理もふるまわれました。そのあとは懇親会となり、盛会のうちに終了しました。

外国の文化に触れてみよう

日野国際交流協会講演会

異文化に触れて国際理解を深めようと、日野国際交流協会(小谷博徳会長)主催の講演会が、11月4日、山村開発センターで開かれ、会員ら約20人が参加しました。

今回は、講師にアメリカン・インディアンのルイス・マルティネスさん(米子市)を招き、インディアンの歴史や文化についての話を聞きました。

ルイスさんは、「人間は神によってトウモロコシから作られた」などの伝承を話したり、参加者からの質問に気さくに答えたりしていました。



民族楽器を演奏し、伝統の歌も披露したルイスさん